

市長定例記者会見次第

平成 27 年 10 月 30 日（金）午前 10 時～

吾妻町ふるさと会館 2 階 研修室 3

1 市からのお知らせ

- (1) 雲仙市「幸せ運ぶメールマガジン」の運用開始について
- (2) 雲仙市地域おこし協力隊員の募集開始について
- (3) 平成 27 年 11 月の主要行事予定について

質 疑

2 懇談

報道資料1

平成27年10月30日

報道機関各位

担当課	政策企画課
担当者	主事 中村 昌太
電話	0957-38-3111
FAX	0957-38-3514

雲仙市「幸せ運ぶメールマガジン」の運用開始について ～あなたに良縁が届きますように～

- ・雲仙市では、市内で実施される婚活イベントなど婚活に関する情報を配信する「幸せ運ぶメールマガジン」の運用を開始しました。
- ・婚活のはじめの1歩！登録は非常に簡単！3分間で婚活をスタートできます！

〔内 容〕

- ・雲仙市内の団体が実施する婚活パーティーやお見合い支援事業等の婚活支援に関する情報を随時配信します。

◆配信予定の情報は次のとおり

1. 市内で実施する婚活イベント情報
2. 市内婚活支援団体が実施するお見合い事業などの婚活支援事業情報
3. 市役所が実施する婚活講座情報
4. その他、皆様の婚活のサポートとなる情報

- ・登録に、お名前や住所等の個人情報不要で、簡単なアンケートへのご回答とメールアドレスをお知らせいただくだけでご利用いただけます。
- ・登録対象者は、婚活をされるご本人だけでなく、独身の方を心配されるご家族の方にもご登録いただけます。

◆登録対象者

1. 市内在住の独身男性・女性
2. 市外在住の独身女性
3. 1および2に該当する方のご家族

報道資料 2

平成27年10月30日

報道機関各位

担当課	政策企画課
担当者	主事 中村 昌太
電話	0957-38-3111
FAX	0957-38-3514

雲仙市地域おこし協力隊員の募集開始について

雲仙市地域おこし協力隊の募集を下記のとおり開始いたしましたので、お知らせいたします。

記

○ 募集人員

雲仙市地域おこし協力隊員（国見、瑞穂地区）1名

○ 主な活動内容

- (1) 定住促進のための空き家の実態調査並びに空き家対策の企画検討及び情報発信
- (2) 農村生活体験など都市との交流事業の企画
- (3) 地域づくり団体等の活動の応援
- (4) 地域資源の情報発信
- (5) その他地域づくりに寄与する活動

○ 応募条件

- ・ 申し込み時点で3大都市圏をはじめとする都市地域(※1)から雲仙市内に生活の拠点を移し、住民票を移動できる人。
- ・ 平成27年4月1日現在において、年齢が20歳以上から概ね60歳までの人
- ・ 地域の活性化に意欲があり、地域が抱える課題の解決に積極的に取り組むことができる人

○ 募集期限

平成27年10月21日（水）から平成27年11月20日（金）（必着）

地域おこし協力隊とは・・・

地方自治体が、都市住民を受け入れ、地域おこし活動の支援や農林漁業の応援、住民の生活支援など「地域協力活動」に従事してもらいながら、その定住・定着を図り、地域の活性化を目指す。

詳しい内容については、雲仙市ホームページをご覧ください。

http://www.city.unzen.nagasaki.jp/info/prev.asp?fol_id=19566

※1 都市地域とは次の法律の対象地域又は指定地域を有しない市町村のことをいう
過疎地域自立促進特別措置法(平成12年法律第15号)、山村振興法(昭和40年法律第64号)、離島振興法(昭和28年法律第72号)、半島振興法(昭和60年法律第63号)、奄美群島振興開発特別措置法(昭和29年法律第189号)、小笠原諸島振興開発特別措置法(昭和44年法律第79号)、沖縄振興特別措置法(平成14年法律第14号)

平成27年度 雲仙市地域おこし協力隊員募集要項

雲仙市は、長崎県の南部、島原半島の北西部に、雲仙普賢岳を取り巻くように位置しており、橘湾や有明海を望む美しい海岸線や、普賢岳、雲仙地獄といった雄大な自然環境を有し、日本最初の国立公園である雲仙天草国立公園、及び島原半島県立公園に指定されている自然豊かな地域です。

このように豊富な資源に恵まれている本市ではありますが、年々観光客が減少し、人口減少や高齢化も進み、地域の担い手不足が深刻な問題となっています。

そこで、本市の地域力の維持・強化をはかるために、地域の方々と一緒になって地域おこし活動に協力していただける意欲あふれる新たな担い手を募集します。

1 募集人員

地域おこし協力隊員 国見・瑞穂地区担当 1名

2 応募条件 以下のすべての項目に該当する方

- (1) 申し込み時点で3大都市圏をはじめとする都市地域等(※1)から雲仙市内に生活の拠点を移し、住民票を移動できる方
- (2) 平成27年4月1日現在において、年齢が20歳以上から概ね60歳までの方
- (3) 普通自動車免許を有している方
- (4) パソコン(文書作成、表計算など)の一般的な操作ができる方
- (5) 地域の活性化に意欲があり、地域が抱える課題の解決に積極的に取り組むことができる方

3 勤務地

雲仙市 国見、瑞穂両総合支所

4 主な活動内容

- (1) 定住促進のための空き家の実態調査並びに空き家対策の企画検討及び情報発信
- (2) 農村生活体験など都市との交流事業の企画
- (3) 地域づくり団体等の活動の応援
- (4) 地域資源の情報発信
- (5) その他地域づくりに寄与する活動

5 勤務時間

週37時間30分程度

勤務1日7時間30分（8時30分～17時00分）、月曜日から金曜日までの週5日勤務を基本とする。

活動内容によっては、夜間、土、日、祝日に勤務することもあるため、上記を超えない範囲で変更する。

6 雇用形態、任用期間

- (1) 雲仙市の非常勤職員として任用します。
- (2) 雲仙市地域おこし協力隊員として市長が委嘱します。
- (3) 委嘱年月日は、平成28年1月ごろを予定しており、具体的な日程は応募者と市が協議の上決定します。
- (4) 委嘱期間は、1年を超えない範囲で市長が定め、3年を限度として延長することができるものとします。

委嘱期間の延長については、毎年3月に市長が活動実績をもとに判断します。

7 賃金等

月額189,500円

退職手当、期末手当及びその他の手当の支給はありません。

8 福利厚生等

- (1) 社会保険（健康保険・厚生年金・雇用保険）に加入します。
- (2) 活動にかかる車両、燃料、パソコン等事務用品等の経費は、予算の範囲内で市が負担します。

9 応募手続

(1) 応募受付期限

平成27年11月20日（金）まで郵送で受け付けます。（11月20日必着）

なお、提出された書類は返却いたしません。

(2) 応募方法

応募用紙に必要事項を記入の上、住民票を添付し、下記提出先まで郵送で提出してください。

10 選考

(1) 第一次選考

書類選考を行い、結果を応募者全員に文書で通知します。

(2) 第二次選考

一次審査の合格者を対象に、面接を雲仙市で実施します。

詳細は、一次審査結果の通知の際にお知らせします。

※第二次選考に要する旅費は個人負担です。

11 その他

引越費用（本市への転入・本市からの転出）は個人負担です。

また、住居について相談には応じますが、ご本人でご契約していただきます。

12 提出・問合せ先

〒859-1107 長崎県雲仙市吾妻町牛口名714番地

雲仙市 政策企画課 地域振興班

担当：中村 昌太

TEL：0957-38-3111

FAX：0957-38-3514

E-Mail：kikaku@city.unzen.lg.jp

※1 地域要件に関する確認については、お問合せいただくか、下記 URL 総務省地域おこし協力隊 HP「特別交付税措置に係る地域要件確認表」を参考にして下さい。

http://www.soumu.go.jp/main_content/000334521.pdf

平成27年11月主要行事予定について

●雲仙市市制施行10周年記念事業

地方創生フォーラムの開催「雲仙の地方創生を語り合う」

(分科会)

日時 10月31日(土) 午後3時30分～5時30分

場所 雲仙市千々石町内 4分科会会場

(全体会)

日時 11月1日(日) 午前9時30分～午後0時30分

場所 ハマユリックスホール

(別紙資料)

●各町文化祭

【国見町】

(国見秋の文化祭)

日時 11月6日(金)～8日(日) 午前9時～午後6時(最終日4時)

場所 国見町文化会館

(第36回文化発表会)

日時 11月3日(火) 午後1時～4時30分

場所 国見町文化会館

【瑞穂町】

(第38回瑞穂町文化祭作品展)

日時 10月31日(土)～11月1日(日) 午前9時～午後5時(最終日3時)

場所 瑞穂町体育館

(第38回瑞穂町文化祭芸能祭)

日時 10月31日(土) 午後1時30分～午後4時

場所 瑞穂町公民館

【吾妻町】

(第21回吾妻町文化協会 作品展示)

日時 11月15日(日)～18日(水) 午前9時～午後5時30分

場所 吾妻町ふるさと会館

(第21回吾妻町文化協会 舞台発表)

日時 11月15日(日) 午後～

場所 吾妻町ふるさと会館

【愛野町】

(第24回愛のまち文化フェスティバル 展示の部)

日時 11月1日(日) 午前9時～午後6時

場所 愛野町農業者トレーニングセンター

(第24回愛のまち文化フェスティバル セレモニー、芸能)

日時 11月1日(日) 午前9時30分～午後4時

場所 愛野町公民館

【千々石町】

(第45回千々石町文化祭 展示の部)

日時 11月1日(日)～3日(火) 午前9時～午後9時(最終日5時)

場所 千々石町公民館

(第45回千々石町文化祭 演芸の部)

日時 11月14日(土) 午後7時～10時

場所 千々石町公民館

【小浜町】

(第37回小浜町文化祭美術展覧会)

日時 11月7日(土)～9日(月) 午前9時～午後6時(最終日4時)

場所 小浜町体育館

(第37回小浜町文化祭芸能発表会)

日時 11月1日(土) 正午～午後4時

場所 小浜町体育館

(第37回小浜町文化祭将棋大会)

日時 11月8日(日) 午前10時～午後4時

場所 南本町公民館

【南串山町】

(第26回文化祭・菊花展)

日時 11月6日(金)～8日(月) 午前9時～午後6時(最終日3時)

場所 ハマユリックスホール

(第26回文化祭・呈茶会)

日時 11月7日(土) 午前9時30分～正午

場所 ハマユリックスホール

(第26回文化祭音楽芸能発表会)

日時 11月7日(土) 午後1時～

場所 ハマユリックスホール

●雲仙市市制施行10周年記念事業 雲仙市自治会長研修会

日時 11月8日(日) 午後1時30分～4時30分

場所 吾妻町ふるさと会館 多目的ホール

(別紙資料)

●雲仙紅葉ウォーク2015

日時 11月8日(日) 午前7時30分受付～

場所 雲仙かきつばた公園

実施主体 雲仙温泉観光協会

●雲仙市戦没者追悼式

日時 11月23日(月) 午前10時～11時30分

場所 吾妻町ふるさと会館

実施主体 雲仙市戦没者慰霊奉賛会

●第6回雲仙市民ウォーキング大会

日時 11月29日(日) 午前

場所 百花台公園

実施主体 雲仙市レクリエーション協会



雲仙市の『いま』と『これから』について、論議と交流を深めるフォーラムです。

分科会 2015年10月31日(土) 15:30~17:30

各分科会のテーマと会場

- | | | |
|-------|-----------|-----------------------------|
| 第1分科会 | 『自然・暮らし』 | ～ 雲仙市千々石総合支所3階 |
| 第2分科会 | 『逸品・じげもん』 | ～ 島原雲仙農業協同組合千々石支店2階 |
| 第3分科会 | 『ちびっこ・若者』 | ～ 雲仙市千々石下峰多目的集会所 |
| 第4分科会 | 『交流・連携』 | ～ 雲仙市千々石保健センター(雲仙市千々石総合支所横) |
- (参加費無料。どの分科会も事前申し込みは不要です)

全体会 2015年11月1日(日) 9:30~12:30

- 会場 : 雲仙市ハマユリックスホール
- 参加費 : 無料(事前申し込みが必要です)

プログラム

9:30 開会

9:40 基調講演「雲仙の未来像 ～山と海と若者と～」
増田 寛也 (野村総合研究所顧問・スローライフ学会会長)

10:30 分科会報告

11:00 パネルディスカッション

コーディネーター : 増田寛也

パネリスト : 中村桂子 (JT生命誌研究館館長)
里見 晋 (長崎県副知事)
金澤秀三郎 (雲仙市長)

12:30 閉会



雲仙市市制施行 10 周年記念事業
雲仙市自治会長研修会開催要項

1. 趣 旨

国においては、人口減少対策を進めるために平成 26 年 11 月に「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、様々な施策が講じられております。

雲仙市においては、本年 4 月に「雲仙市まち・ひと・しごと創生本部」が設置され、平成 27 年度から 5 ヶ年計画を網羅した「雲仙市まち・ひと・しごと総合戦略」を策定し、取組みを進めようとしています。

そのような中、自治会におきましても人口減少、少子高齢化経済構造の変化により、人の繋がりの希薄化や価値観の多様化などの問題は、地域社会にも大きく波及しており、従来の考え方や手法では解決が難しくなり、自治会内のまとめ役である自治会長の責務は年々増加傾向であるといえます。

自治会長は、行政と住民とのパイプ役を担っており、各地域・単位自治会で自分たちの豊かな地域生活を実現するため地域要求や地域課題解決への取り組みといった独自の特色ある活動を展開していくことが、今、求められていると考えます。

そのような実態を踏まえ、自治会長連合会発足 10 年目を機に、自治会の役割とその活動の在り方等について、自治会長・自治会関係者間で課題を共有しながら、実践活動を推進し、自治会活動の活性化を図っていく必要があります。

そこで、雲仙市内 242 自治会長及び自治会関係者が一堂に会し、講演や日ごろの実践活動の紹介及び実践交流を通して、これからの自治会活動の在り方や方向性を確認し、自治会活動の一層の充実発展を図るために本研修会を開催します。

2. テーマ 「より良い地域づくりを目指して ～自治会活動のあり方を考える～」

3. 日 時 平成 27 年 11 月 8 日（日） 13：30～16：30

4. 会 場 吾妻町ふるさと会館多目的ホール

5. 主 催 雲仙市自治会長連合会、雲仙市

6. 参 集 雲仙市自治会長、雲仙市青少年健全育成協議会（支部長）、雲仙市民生委員（正副）、雲仙市職員

7. 日 程

○受付

受付開始 13 時 00 分～

○研修会

開始時間 13 時 30 分

(1) 開会行事 (10 分) : 13 時 30 分～13 時 40 分

- ・開会のことば 自治会長連合会副会長 齋藤 正勝
- ・主催者あいさつ 雲仙市長 金澤 秀三郎
自治会長連合会 会長 古賀 大八郎
- ・来賓あいさつ 雲仙市議会 議長 大久保 正美 様

(2) 事例発表 (40 分) : 13 時 50 分～14 時 30 分

- ・事例 1 千々石町上塩浜自治会
「人生を楽しく生きるための「自由参加型」自治会活動」
- ・事例 2 吾妻町永中自治会
「永中家族のふれ愛活動」

(休 憩)

(3) 講演 (60 分) : 14 時 40 分～15 時 50 分

- ・講師紹介 長崎大学 山口純哉准教授
演題「多様な協働による一歩先行く自治会運営」
- ・謝辞

(4) 質疑応答 : 15 時 50 分～16 時 20 分

(5) 閉会行事 : 16 時 20 分～16 時 30 分

- ・閉会のことば 自治会長連合会副会長 児島 雄洋
- 終了時間 : 16 時 30 分